

## 第26回 レギュラトリーサイエンス学会 理事会 議事録

令和7年7月2日13時00分から、WEBシステムを用いて、理事会を開催した。

### 出席者

理事：18名

橋田充、新井洋由、石井明子、泉祐子、岩崎清隆、岡田潔、柏谷祐司、川北晃司、合田幸広、近藤昌夫、鈴木由香、谷岡寛子、富田泰輔、中路茂、中村健一、山口斉昭、渡邊伸一、渡邊裕司

監事：2名

笠貫宏、山本圭一

代表理事橋田充が議長として、開会を宣言し、WEBシステムによって出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっていることを出席の理事、監事全員で確認したうえで、次のとおり定足数に達する理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数 20名

出席理事 18名

### 一 決議事項

#### 第1号議案 令和6事業年度事業報告に関する件

本議案につき、事務局から、令和6年9月に社員総会を開催したこと、理事会は同年7月と9月に開催したこと、同年9月に第14回学術大会を開催したこと、学会シンポジウムについては合計3回開催したこと、学会誌については第14巻第3号、第15巻第1号及び第2号を発行したこと、日本学術会議協力学術研究団体の指定を受けた等が報告された。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

#### 第2号議案 令和7事業年度事業計画に関する件

本議案につき、事務局から、第15回学術大会の開催やシンポジウム等の開催、機関誌の発行等の事業を例年と同様に実施したいこと等の説明があった。また、同学術大会の大会長を務める合田理事から概要説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

#### 第3号議案 令和7事業年度予算に関する件

本議案につき、事務局から、学会の財務に関し、令和5事業年度末（令和6年6月末）における繰越額は408万円であったこと、令和6事業年度単年度（令和6年7月～7年6月）では23万円の黒字と見積っていることから、令和6事業年度末（令和7年6月末）の時点で累積432万円の繰越と見込んでいることを説明したうえ、令和7年度については、会費収入は前年度と同額で、学術大会・講演会等の収入及び支出については過去3か年の平均で、機関誌出版費については令和5年度並み、事務局業務委託費に

については平成 24 年度以来初めての値上（8%）で見積もったこと等の説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

なお、決算書類等については、税理士のチェック、監事の監査を受けたものを 8 月の理事会に諮るが、本理事会は書面開催とすることで了解された。

#### 第 4 号議案 定時社員総会の開催に関する件

本議案につき、事務局から、定時社員総会を令和 7 年 9 月 6 日に開催したいこと、議題は令和 6 年度事業報告、同年度計算書類等の承認等を予定していること、出席しない社員は書面等によって議決権を行使できることとしたいこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

## 二 報告事項

### 1 学会の現況の件

本年 7 月 1 日現在の学会の会員数が 924 名（正会員 793 名、若手会員 68 名、学生会員 63 名）であること等について報告がなされた。

### 2 第 15 回及び第 16 回学術大会の件

本年 9 月 5、6 日に開催予定の第 15 回学術大会について、プログラム等が紹介された。また、第 16 回学術大会については、令和 8 年 9 月 4、5 日に一橋大学一橋講堂において開催することとし、その大会長の選任については、代表理事を中心に作業を行い、8 月の書面理事会に諮ることとされた。

## 三 その他

- (1) 笠貫監事から、学術大会についてオンライン、オンデマンドでの配信を検討してはどうかとの提案があった。事務局から、本年 9 月の学術大会につき運営委員会で検討された際には、対面でのやりとりが大切という観点から、経費も考え、オンライン等には対応しないこととなったこと、来年の学術大会を議論する際には、大会長のお考えもあろうと思うので、あらためて検討してもらいたいと考える旨回答した。
- (2) 泉理事から、薬害関係資料の散逸を防ぎ、収集・保管する活動を行っている一般社団法人薬害研究資料館が昭和 100 年を記念する事業の一つとして関係資料の展示等を行う計画を国の協力のもとで計画しているので、学会としても協力をしてほしい旨の要望があった。具体的な計画進展とともに、泉理事から代表理事あるいは事務局に適宜情報提供いただき、所要の検討をすることとされた。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は 13 時 45 分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び監事が記名押印する。

令和7年7月2日

一般社団法人レギュラトリーサイエンス学会

代表理事 橋田 充 印

監 事 笠貫 宏 印

監 事 山本圭一 印